

6月19日閉所式

理事 妹尾 栄治

「つらい、つらい震災でしたけど・・・、皆さんに会うことができ、本当によかったです。本日でこれっきりというのではなく、もう一度でも、是非とも皆さんに会いたいです・・・。」いろんな思いが噴き出したのでしょう。石巻市医師会の佐藤文彦先生は挨拶の冒頭で言葉を詰まらせて、しばらく沈黙・・・。この地を応援してくれた全ての人達への感謝が、この沈黙に込められており十分に伝わりました。6月19日午後1時半過ぎ、川島会長から石巻中学校の境校長に救護所の鍵が返却されて、JMAT 兵庫県医師会チームの任務が終了しました。

石巻中学校の正門広場には噴水の池があります。たくさんの小魚とそれらを引き連れて泳ぐ大きな鯉に見惚れておりました。どうってことのないありふれた学校の池ですが、子供のころ見た遠い昔の懐かしい眺めだったのか、いいものを見つけた気持ちでした。「この小魚たちはね、今年生まれたのですよ。あそこに一か所深く引っ込んだところがあるでしょ。震災の時にはこの池の水がなくなって、あその残った水の中に魚たちは避難したのですよ。それで生き延びることができたのです。」後ろから不意に現れた校長先生の話聞いて、私は思わず握手を求めてしまいました。突然に700人余りの避難所の責任者になった校長先生は、3月11日のあの日からこの池を見ていたのですよね。佐藤文彦先生、境校長先生、ひと段落したら兵庫にゆっくりと遊びにいらしてください。

